

## 令和8年度病院事業会計予算資料（工事・医療器械・について）

## 建物関係

免震装置詳細調査業務委託	病院の建物も平成14年竣工から23年が経過し、修繕工事が多くなり老朽化が顕著になってきている。今後必要となる建物及び設備の大規模修繕を計画的に実施して、長寿命化を図るため令和7年度に中長期整備計画を策定したところであるが、その調査の中で、免震装置の老朽化やカバーの破損が指摘されたため、詳細調査を行うもの。なお、耐火カバー内の調査は平成16年中越地震後の緊急点検以来となる。
免震装置修繕工事設計業務委託	上記調査結果を元に、修繕工事の方針決定、及び修繕工事の設計を行うもの。修繕工事の実施は令和9年度の予定。
温水洗浄便座交換（修繕）	令和7年度に交換した残り（1F・2F）の温水洗浄便座を交換するもの。
誘導灯交換（修繕）	令和7年度に交換した残り（地階・2F）の誘導灯を交換するもの。

## 医療器械・備品

## 生化学自動分析装置

検査室に設置されている生化学分析装置は2013年に購入し耐用年数7年（税法上の耐用年数は4年）のところ、12年が経過している。生化学、電解質、HbA1cを測定し、血液検査機器の主要な装置で、診察のほか人間ドック等でも診断に使用している。内部のチューブ類や真空ポンプの劣化が見られ、故障した場合、診療等への影響が大きいと更新する。



### 便潜血分析装置

便潜血分析装置は2016年に購入し耐用年数7年（税法上の耐用年数は6年）のところ10年が経過。便中の微量な血液を検出する大腸疾患検査装置で、ほかの検査機器に比べ使用頻度が高く、外観からも老朽化が感じられる。故障した場合、診療等への影響が大きいため更新する。



### 尿定性検査機器

尿定性検査機器は2016年購入し耐用年数5年（税法上の耐用年数は6年）のところ10年が経過。尿中の糖、タンパク質、ケント体、ビリルビン、血液などの有無を確認する検査機器。2024年6月及び2025年6月に故障し修理している。内部のチューブ、躯体に劣化が見られ早急に更新が必要な状態。なお、写真は修理の際の代替機。



### 薬品冷蔵庫

薬品冷蔵庫は自動検査機器等で使用する試薬を保管するもの。開院以来使用しており、2025年になって冷却能力が落ち、冷えないことが多い。高額な試薬類、患者検体の保管にも使用しているため早急な更新が必要。

写真省略

### オートクレーブ

オートクレーブは既滅菌保管室（清潔区域）と洗浄組立室（不潔区域）の間の壁内に設置された、手術器具、処置器具、布製品、検査用具等を高温高圧蒸気で滅菌する大型滅菌装置。開院以来使用しており、同機種では県内最古となった。近年故障も多く頻繁に修理を行っている。耐用年数を大幅に超過しており、修理部品の供給は終了している。病院運営するうえで必要不可欠の装置で、使用できなくなると大きな支障となることから、更新する。





### オンライン予約・AI問診システム

電子カルテに連携しているオンライン予約・問診システム。問診システムはタブレットへ患者が直接入力することにより、問診票の記載時間、聞き取り時間、転記作業を削減し、問診業務の効率化を実現する。導入により、問診を担当する看護師の業務効率化、及び医師の電子カルテへの記載時間（初診患者1名あたり2分、1日60名で2時間）を短縮し、質の高い診療に充てる時間を確保する。

オンライン予約システムは、予防接種における国のデジタル化の流れで新規導入するもの。電カルと連携しているドクターネクットの同時導入により町民の予防接種オンライン予約が可能となる。

写真省略

<p><u>電子処方箋</u>  国のデジタル化の流れで導入するもの。電子処方箋は、患者の薬剤情報をリアルタイムで共有し、薬局での待機時間の短縮や、重複投薬や併用禁忌の防止に、災害時の医療継続にも役立つ。診療の効率化や医療の質向上を図るため、全国的に普及が進んでいる。導入によって医療 DX 推進体制加算 1 から 3 が算定でき、増収も見込める。町内の調剤薬局は導入済み。</p>	写真省略
<p><u>歯科診療台</u>  3台の歯科診療台のうち歯科診察室の東側（国道側）にある診察台が、診療所時代から使用しているもので、吸引の機能が壊れており治療に使用できない。診療台3台体制として、効率的な診療ができるようにしたい。</p>	
<p><u>セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ</u>  一般病棟と外来に設置し複数の患者のバイタルサイン（心電図、呼吸、血圧、SpO<sub>2</sub>など）を一括で監視する装置。2015年12月に購入し、2023年に保守期限が終了しているためメーカーのメンテナンスが受けられず、故障しても修理はできない。稼働率の非常に高い機器の為、入替を行う。</p>	
<p><u>除細動器</u>  一般病棟と外来に設置し心臓が痙攣して正常に拍動できない「心室細動」などの致死性不整脈を電気ショックで止め、正常なリズムに戻す医療機器。2015年12月に購入し、2023年に保守期限が終了しているため、メーカーのメンテナンスが受けられず、故障しても修理はできない。心肺停止時など緊急時に使用するため常に故障や不具合のないように万全を期する必要がある、医療機関には整備が必須な医療機器であるため順次入れ替える。令和8年度1台、令和9年度1台。</p>	